

けんぽく農林ニュース

ふくしまから はじめよう。 「食」と「ふるさと」新生運動ニュース

～県北地方の「食」と「ふるさと」新生運動に関する
情報をお知らせします～



県北地方では、ナシの摘果作業の真っ最中！
ぐんぐん実が大きくなっていきます。



二本松市のナシの幼果

広域基幹林道(防火林道)「大霊山線」が完成！

伊達市の霊山（標高 825m）は、奇岩・奇石がそそり立ち、新緑、高山植物、紅葉の名所としても知られ「日本百景」・「うつくしま百名山」に指定されている名峰です。

大霊山線は、この西側に位置し、国道115号から県道浪江・国見線までの県道、市町村道、林道等計5路線を結ぶ、総延長7,359mの林道で、森林の適正な整備・保全や林業経営の効率化を推進する広域基幹林道（防火林道）の2車線林道（一部1車線）として、平成8年から20年の歳月をかけ、平成29年5月に全線完成となりました。

伊達市（旧：霊山町）では、昭和46年に約30haの林野火災の被災経験があったことから、林野火災特別地域にあたるこの地に、林道敷には防火帯としての機能を持たせ、火災発生時の消火活動を円滑に実施するためのヘリポート1箇所、防火水槽3箇所が整備されています。

周辺には、国指定史跡名勝及び県立自然公園の「霊山」があり、数々の歴史や伝説が残る地で、「霊山こどもの村」をはじめ、「湧水の里」、「自然登山道路」等が整備され、林道沿線各所から、安達太良山、一切経山、蔵王などの大パノラマを楽しむことができます。



霊山を望む「大霊山線」



「大霊山線」は2車線林道（一部1車線）

- ・起 点：伊達市靈山町石田^{ほうしきわ}地内（国道 115 号に接続）
- ・終 点： " 大石^{こうずけ}字楮畑地内（県道浪江・国見線に接続）
- ・全体延長：7,359m
- ・規 格：自動車道 1 級、設計速度 30km/h
- ・道路幅員：5.5m (7.0m) の 2 車線 [終点側 2,200m は 1 車線 4.0m (5.0m)]
- ・防火施設：ヘリポート 1 箇所、防火水槽 3 箇所 (森林林業部)

平成29年度「田んぼの学校 開校式・田植え」が行われました！

平成 29 年 5 月 16 日（火）、福島市立飯野小学校の敷地内水田において、平成 29 年度「田んぼの学校 開校式・田植え」が行われました。

この事業は、地域の未来を担う子どもたちが「農業・農村地域の大切さ」、「環境の大切さ」、「食・命の大切さ」について理解を深め、豊かな感性と深い見識を持つことを目指して県が実施する「ふくしまの農育」推進事業を活用して、当校では平成 27 年度から 3 年間、5 年生児童を対象に実施しています。

開校式では、田んぼの学校長である高野久氏、飯野小学校長や当事務所長が挨拶し、「食べもの・命の大切さ」「自然・生きものの大切さ」「ふるさと・地域の大切さ」について学んでほしいとの話がありました。

その後、高野氏から苗の植え方を教わり、児童は田んぼの中に入って、苗を植えていきました。

田植え後、児童からは「始めは泥の感触が気持ち悪かったけど、大丈夫になった。」「田植えは初めてだったけど、できてよかった。」などの意見が聞かれました。

また、高野氏からも「ほとんどの児童が初めてだったけど、おおむねよくできました。」との講評をいただきました。(農村整備部)



開校式の様子



田植えの様子



初めての田植えに大興奮の児童たち



田んぼの学校長 高野氏からの講評

「一緒にがんばろう！」福島市新規就農者激励会を開催されました！

平成29年4月25日（火）、福島市のアオウゼ多目的ホールにおいて、福島市とふくしま未来農業協同組合主催、福島市農業後継者連絡協議会の共催による「福島市新規就農者激励会」が開催され、新規就農者一人一人がこれからの抱負を語り、集まった福島市の農業後継者組織のメンバーや関係機関から激励を受けました。

今年の新規就農者は22名で、過去10年の平均就農者数の17名を超えました。

経営品目は果樹、野菜が多く、就農形態は、親元就農の若い後継者、会社を退職して就農する経験豊かな御夫妻、東京出身の1ターン就農者等、年齢層もこれまでの経験も幅広くバラエティ豊かな皆さんです。

会の中では、農業後継者連絡協議会の水野圭悟会長から「就農して想定外だったのは孤独だったこと。一人で作業を行うことも多い。同じ農家同士、話し合い、分かりあえる仲間作りをしていきましょう。」と激励の言葉がありました。

栽培技術、経営だけでなく就農者同士の交流を支援し、早期に経営が安定し定着できるよう、関係機関や農業者等みんなで応援していきます！（農業振興普及部）



一人一人豊を語る新規就農者たち



新規就農者を激励する水野会長

国見小学校の児童が「天のつぶ」の田植えを行いました！

平成29年5月8日（月）に国見町立国見小学校学習田で田植えが行われ、5学年の児童68名が本県オリジナル水稲品種「天のつぶ」の苗を丁寧に手植えました。

学習田は、「地域を知る、農業への理解を深める」目的で小学校が企画し、小坂アグリ株式会社（以下、小坂アグリ）と国見町の協力により実施されました。当日は、ふくしま未来農業協同組合伊達地区本部国見営農センターと当事務所の職員も田植えの指導に参加しました。

児童は、「天のつぶ」の名前の由来や、苗の植え方等の説明を受けた後、一列に並んで田植えを行いました。最初は、裸足で田んぼに入ることをためらう児童もいましたが、しばらくすると、全員が上手に苗を植えられるようになりました。

田植え後、児童から「田んぼ」や「お米」の質問が続きました。対応した小坂アグリの朽木勝之代表取締役からは、「子どもたちには、田植えや稲刈りを通して地域の農業や米作りをもっと知ってもらいたい。」との感想がありました。

秋には、学習田の稲刈り体験と収穫祭が予定されています。

（伊達農業普及所）



田植えの説明をする小坂アグリの朽木代表取締役(左側)



全員で一斉に田植え開始



線に沿って上手に田植え中



田植えを終えて記念の集合写真

復興再生基盤整備事業「貝田地区」の安全祈願祭が行われました！

昨年度事業採択となった復興再生基盤整備事業「貝田地区」の本格的な工事の着手に先立ち、平成29年4月28日（金）に国見町町営住宅貝田団地敷地内で、工事受注業者の株式会社近藤組の主催による安全祈願祭が行われました。

当地区は、福島県が事業主体となり平成32年までの5年間にわたって総事業費5億8千万円をかけ、29.0haの農地や道水路等を整備する面積区画整理工を実施します。完了した工区から順次、一時利用地指定を行い、区画整理完了後に土地を分配する換地処分が行われる予定です。

安全祈願祭では、事業推進委員や工事関係者約30人が出席し、鍬入れなどを行い、事業が円滑かつ安全に推進されるよう祈願しました。来賓として、当事務所の須田博行所長から「ほ場の大区画化」「農地の集積」「担い手農家の育成」を図るため、受益者の方々、施工業者、町、県が連携し、ほ場の整備を進めていくことを説明し、国見町の太田久雄町長、株式会社近藤組の近藤克成代表取締役社長からは、事業を契機とした地域の農業振興と工事の安全について挨拶があり、本格的に工事に着手することになりました。（農村整備部）



鍬入れの儀



須田当事務所長あいさつ

真夏の田植えツアーin 大玉村！

平成29年5月20日（土）、大玉村大山にて、首都圏を中心に店舗を展開するスーパー「いなげや」の田植えツアーがふくしま未来農業協同組合の協賛で行われ、「いなげや」の利用者10家族（36名）が参加しました。

参加者を乗せたバスは昼過ぎに大山公民館に到着し、歓迎セレモニーが行われました。歓迎セレモニーでは同組合稲作部会長 菅野治正氏、同組合安達地区担当常務理事 菅野徳一郎氏、いなげや商品本部一般食品部チーフマーチャンダイザー 高橋一郎氏から歓迎のあいさつが行われました。歓迎セレモニーの後、集合写真を撮影し着替えをして、昼食となりました。昼食には、中通り産特A米のコシヒカリで作ったおにぎりや、アスパラガスの天ぷらなどが振る舞われ、当事務所安達農業普及所職員が、米の全量全袋検査の概要と、福島の米の食味などを説明しました。

その後、田植えが行われるほ場で、菅野部会長から田植えの説明が行われました。この日、大

玉村は最高気温 30℃を記録する真夏日となり、参加者はこまめに水分を取りながら田植え作業を行っていました。田んぼに入った子供たちは、泥の感触を素肌で感じ歓声を上げ、慣れないながらも初めての田植え作業を楽しんでいました。炎天下での作業で沢山汗をかいたツアー参加者たちは、その後に向かう岳温泉や、翌日に予定されるアスパラガスの収穫体験に期待を膨らませている様子でした。
(安達農業普及所)



安達太良山をバックに田植え



米の全量全袋検査の説明

「道の駅国見 あつかしの郷」グランドオープン！

平成29年5月3日（水）、国見町の国道4号沿いに県内30番目となる「道の駅国見 あつかしの郷」がオープンしました。5月13日には、なんと通算来場者10万人を達成しました。

震災と原発事故からの復興のシンボルとして、町の基幹産業である農業を中心に、みんなで夢を形にした道の駅です。波型の大屋根は、阿津賀志山、阿津賀志山防塁（二重堀）の曲線、特産のフルーツの滑らかな曲線、国見に住む人たちの温かい真心をイメージしました。地元産のスギ材を随所に使用し、温もりある開放的な道の駅となりました。地場産品を食材とした懐石料理やハーフビュッフェレストラン、新鮮な農産物・国見生まれのオリジナル商品・6次化商品や福島県のお土産も並ぶ直売所、小さな子どもたちが木のおもちゃで遊べる木育広場、会議や研修スペース・宿泊施設も備えられています。交流の場や、町を巡って、食べて、お土産を探す場としてぜひおいでください。

■問い合わせ先：【道の駅国見 あつかしの郷 TEL024-585-2132】

(国見町)



「道の駅国見 あつかしの郷」全景



連日賑わいをみせる直売所

けんぼくの6次化の取組の紹介
内池醸造株式会社



「ふくしまの食材でおいしい食卓！」

内池醸造株式会社では、福島県産の農産物を使ったドレッシングやソースなどの調味料の製造と販売活動に取り組んでおります。平成10年に「ふくしま大豆の会」に参加したのがきっかけで、以降、地元の農業協同組合や生産団体と協力しながら様々なオリジナル商品を製造・販売しています。

また、好評の「えごまドレッシング」をはじめとした福島県産の原料を使った自社ブランドの商品も多数取り揃えております。

- 6次化商品の紹介 「焼肉和だれ」180g 醤油仕立・味噌仕立
 福島食肉事業協同組合、福島県食肉生活衛生同業組合との共同開発品です。原料に福島県産の「桃・りんご」を使い、福島県産大豆を原料に醸造した醤油・味噌を使用した醤油・味噌仕立の焼肉のたれです。化学調味料は使用せず、自然なおいしさに仕上げました。

- 地産地消商品

| | |
|--------|------------------|
| 福島のソース | 福島県産桃・梨・りんご・トマト |
| 大豆の会商品 | 福島県産大豆 |
| 鶏三昧 | 会津地鶏、川俣シャモ、伊達鶏 |
| 焼肉和だれ | 福島県産大豆・桃・りんご |
| ドレッシング | 福島県産えごま・たまねぎ・トマト |

- 関連 URL 取り扱いWEB販売 47CLUB <http://www.47club.jp/09M-000055uci>

- 事業者データ 内池醸造株式会社
 960-0101 福島県福島市瀬上町字西上新田1-7
 ☎ 024-554-6581 ホームページ <http://www.uchiike.co.jp/>



焼肉和だれ醤油仕立て(左)
 ・味噌仕立て(右)



内池醸造の社員



内池醸造の社屋

編集・発行 福島県北農林事務所 企画部 地域農林企画課
 電話 024-521-2596 FAX 024-521-2850
 ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36210a/>
 電子メール kikaku.af01@pref.fukushima.lg.jp

